

令和4年2月長浜市教育委員会定例会 会議録

I. 開催事項

1. 開催日時

令和4年2月24日(木) 午後1時30分～午後2時35分

2. 開催場所

教育委員会室(長浜市八幡東町632番地 長浜市役所5階)

3. 出席者

教育長	板山 英信
委員	美濃部俊裕(教育長職務代理者)
委員	廣田 光前
委員	宮本 麻里
委員	中村 亜紀
委員	松宮 誠也

4. 欠席者

なし

5. 出席事務局職員

教育部長	酒井猛文
次長	鵜飼康治
次長	清水伊佐雄
教育総務課長	服部稔
教育改革推進室長	中北隆尚
教育指導課長	笥敏弘
すこやか教育推進課長	宮本安信
幼児課長	中島尚子
教育センター所長	織田恭淳
教育総務課長代理	前嶋美和
教育総務課副参事	西川洋輔

6. 傍聴者

なし

II. 会議次第

1. 開 会

## 2. 議 事

日程第 1 会議録署名委員指名

日程第 2 会議録の承認

日程第 3 教育長の報告

日程第 4 議案審議

議案第 2 号 議会の議決を経るべき教育関係議案に関する意見について

日程第 5 協議・報告事項

日程第 6 その他

## 3. 閉 会

### Ⅲ. 議事の概要

#### 1. 開 会

教育長から開会宣言があった。

#### 2. 会議録署名委員指名

美濃部委員、廣田委員

#### 3. 会議録の承認

1 月定例会

特に指摘事項はなく、1 月定例会の会議録は承認された。

#### 4. 教育長の報告

教育長：新型コロナウイルス感染による学級閉鎖・学年閉鎖の状況がまだゼロには至っておりません。全体的な状況を説明しますと、1 月に全国的に感染が拡大してきたときから、感染力の強さを考慮しまして、感染が確認されたら一旦全てを閉じ、最小限度の期間でまた再開していくということを繰り返してまいりました。2 月に入りますと、ややその状況が落ち着き始めたというのが実感でございます。特定の学校や学年で集団感染が広がるという状況は何とか今のところ抑えられていると思っています。

今後は、状況にもよりますが、学級を閉めて十分対応できるということであれば、学年を全部閉めるのではなく、短期間の学級閉鎖という形にしたいと思っていますところでございます。

ご承知のように、3 月に入りますと、公立高校の一般入試があります。中学校の校長先生は、特に3 年生に関して感染を止めたいという思いが強く、学年を閉じるという形で現在、進めている学校が2 校ほどございます。何とかこのまま下火に向かってくれるといいと思います。心配しておりました2 月の公立高校の推薦等の入学試験や私立高校の入学試験も、長浜市としては受験の機会が保証できたと考えております。

2点目でございますが、今年度新たに、学校支援功労者・功労団体への表彰を創設いたしました。長年何の見返りも求めずに、学校・園や子どもたちのために頑張っていたいただいた方を、何とか広くご紹介したいというような思いで、行ったものでございます。

まだ推薦していただいた学校数は少ないですが、来週表彰をさせていただきます。今後就学前等にも広げていきたいと思っております。これは何も教育委員会で賞状を渡すということが目的ではなく、長年子どもたちのために目立たぬところで頑張っていた方にスポットライトをあて、子どもたちに自分たちの学校でこんなふうにして自分たちの生活を支えてくれている人がいるんだということ、学んでいただきたいという思いです。

ほかにも、長浜市内の建築組合がございまして、その組合に所属されている業者の皆さんが、夏休みの時期に順番に回る学校・園を決め、いろいろなものをつくったり修繕したりしてくださっています。

スクールガードの皆さんも毎朝、子どもたちと一緒に登校してくださっています。見ていますと、子どもたちと色々なことをしゃべりながら歩かれています。子どもたちは学校に行きたくないと言っているかもしれませんし、昨日先生に褒められたと言っているかもしれません。非常に子どもたちにとってはありがたい存在です。この方たちは、何か見返りを求めるのではなく、あなた方のことを純粋に思ってやってくださっているんですよ、ということ、ぜひ子どもたちに伝えたいという思いでございます。

廣田委員：長年の登校時の指導、自然環境の保護やあいさつ運動など、皆さんとても熱心に良い取組をしていただいております、嬉しいです。

## 5. 議案審議

議案第2号は、市議会で審議される前の情報であり、公にすることにより市民等の間に混乱を招くおそれがあることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき非公開としたい旨の発議が教育長よりあり、委員の全会一致で可決された。

議案第2号 議会の議決を経るべき教育関係議案に関する意見について

教育長は事務局に説明を求め、関係所属長から資料に基づき説明があった。  
各委員とも異議なしということで原案どおり同意された。

## 6. 協議・報告事項

審議案件なし

## 7. その他

松宮委員：コロナや雪の影響で臨時休業されたのですが、実際の学習の進行状況

は、例年に比べてリカバリーできたのでしょうか。それとも、実際には難しいところがあるのでしょうか。

教育指導課長：市内全域を見ましても、一回も学年閉鎖や臨時休業をしていない学校というのは、少なくなってまいりました。中には何度も学年閉鎖を繰り返している学校もあるのが現状でございます。今年度からiPadを活用するようになりました。以前、北部と南部によって差があるのではないかというご指摘をいただきましたが、学習支援ソフト等を使いまして、今までは紙だけであったものが、担任からスムーズに課題が送られてくるということで、一定リカバリーができているとも考えられるのですが、やはり何度も休業を繰り返している学校では、少々授業数が少ないと考えているところです。特に私が心配していますのは、もうすぐ公立高校の入試だということでございます。3年生、その保護者も心配していると思います。もう授業はほとんど済んでいるということですが、今後も予断を許さない状況であるということには変わりないと考えております。

教育長：このコロナ禍が始まった当初に、2か月間の臨時休業がありました。長期休業の短縮や、7時間目の設定など、いろいろなことをしてきたわけですが、それらが教訓として生かされている部分もあると思います。ただ、慣れに陥ってしまうとよくないので、教育委員会としましても、年度末を控え、この年度中に学習しなくてはいけないところは確実にできるよう確認等もしていきたいというところでございます。

オンライン授業ができるかできないかということがよく問題になるのですが、非常時には致し方ない部分があるとは思いますが、やはり小学校ではこのシステムで授業というのが難しい部分もあるだろうと思います。教室の空間の中ですらなかなか45分間集中できない子どもさんもいます。中学校ではオンラインで朝の会、帰りの会をやっているところもあります。

あとは課題の出し方です。みんな一律の課題を一斉に送るのではなく、個に応じたような課題を送っていくというようなことも、今学校で力を入れているところです。設備としては長浜市も100%近く完備していますので、あとはどうそれを活用していくかということになるかと思います。

廣田委員：私たちの勉強会でも今はほとんどオンラインです。正直オンラインでは頭の中に入りにくいです。現場に行くとその場で質問もできます。

もう一つ、今年の冬はちょっと長いですね。雪も多いです。今年は霜焼けの患者さんが多いです。この寒さによって亡くなった方もおられます。若い人にもそういうことがあります。心臓に対する負担は結構大きいので、除雪作業などはある程度体の準備をしてからやるといいと思います。

## 8. 閉会

教育長から閉会宣言があった。